

NEWS LETTER

2020.01.29

「三菱ケミカルは決めました」 シリーズ No.2

株式会社三菱ケミカルホールディングス

TEL：03-6748-7140

宣言 10: テレワークを推進します

2020 年夏季期間を機にテレワーク活用を加速

1/14 から 31 日まで東京エリア勤務者 約 2,000 名を対象にトライアルを実施

1月15日に発表したプレスリリース (https://www.mitsubishichem-hd.co.jp/news_release/00874.html) の通り、株式会社三菱ケミカルホールディングスでは、東京都と大会組織委員会が大会期間中の交通混雑緩和に向けて立ち上げた「2020 TDM推進プロジェクト (<https://2020tdm.tokyo/>)」による協力要請や従業員の通勤負荷軽減などを目的に、本年7月24日から8月9日までの間、役員・従業員の勤務形態を原則テレワークとすることを決定しました。

これを受けて、事業会社である三菱ケミカル株式会社も、上記期間中、及び8月25日から9月6日まで、東京エリア勤務者約2,000名を原則時差出勤とし、更なるテレワークの活用を推進します。

併せて、夏季期間中にこれらの取り組みを円滑に進めることができるよう、本年1月14日から31日までをトライアル期間とし、下記概要にてテレワーク勤務や時差出勤を推奨します。

《三菱ケミカル社 夏季大会のテレワーク勤務のトライアル概要》

- 目的**： 2020の夏季大会を見据えたテレワークや時差出勤のトライアルを実施し、本番に向けた課題抽出を図る。
- 対象者**： 三菱ケミカル社 東京エリア勤務者 約2,000名
- 期間**： 2020年1月14日(火)から31日(金)
オリンピック開会式の半年前にあたる1月24日をコア日に設定
- 実施内容**： テレワークやフレックスを活用することによる時差出勤の推奨
目標:勤務日14日間で7日間の実施

		7:30	9:30	12:00	13:00	16:15	17:00	
モデル①	7:30迄に出勤	通勤	オフィス勤務		休憩	オフィス勤務	通勤	
モデル②	9:30から出勤 (朝テレワーク)		テレワーク	通勤	オフィス勤務	休憩	オフィス勤務	通勤
モデル③	午後から出勤 (午前テレワーク)			通勤	テレワーク	通勤&休憩	オフィス勤務	通勤
モデル④	出勤しない (終日テレワーク)				テレワーク	休憩	テレワーク	

トライアル終了後には従業員にアンケートを行い、活用実績や阻害要因などを調査し改善を進めます。

■ 三菱ケミカル社のテレワーク活用の取り組み

三菱ケミカル社では、“健康支援”と“働き方改革”を両輪とした『K A I T E K I 健康経営』を推進しています。これは、「一人ひとりが健康で満足できる働き方」と「一人ひとりがいきいきと能力を發揮できる職場環境」を追求することです。こうした三菱ケミカル流の働き方を実現する手段のひとつとして、テレワークの活用を推進しています。

また、2017年より総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、内閣官房、内閣府が東京都および関係団体と連携し、2020の夏季大会開会式にあたる7月24日を「テレワーク・デイ」と位置づけ、働き方改革の国民運動を展開していますが、三菱ケミカル社においても、役員・従業員が制度のメリットや課題を実感する機会として、2018年からこの取り組みに参加しています。

《三菱ケミカル社「テレワーク・デイズ」参加実績》

	実施期間	参加実績・全国(%)*	参加実績・東京エリア(%)*
2018年	7/23~7/27	対象者のうち約30%	対象者のうち約40%
2019年	7/22~9/6	対象者のうち約50%	対象者のうち約65%

*アンケート調査による

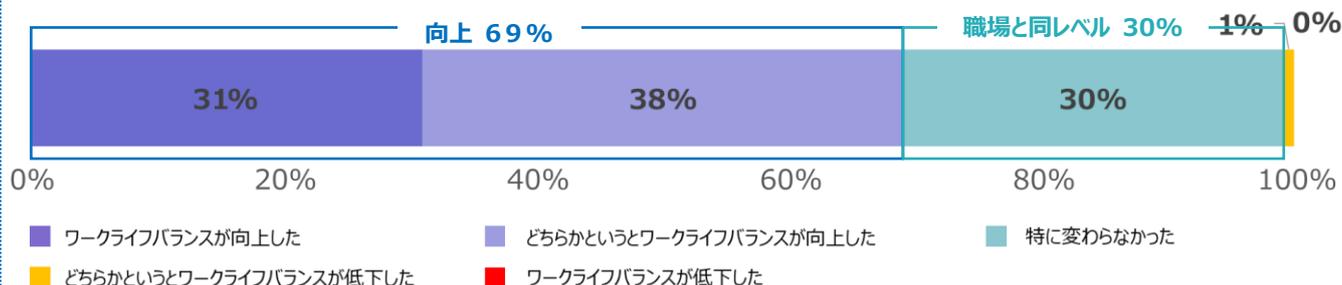
2019年の「テレワーク・デイズ」の際に実施したアンケート調査では、約60%の参加者が「生産性が向上」と答えたほか、38%が「特に変わらない（＝職場と同レベルの生産性を維持している）」と回答。また、「ワークライフバランス」については、「低下した」と感じた参加者はわずか1%にとどまっております。徐々にテレワーク勤務の有用性が浸透しつつあることがわかります。

《2019年「テレワーク・デイズ」参加者アンケート》

Q. テレワーク勤務において、業務の生産性は向上したか



Q. テレワーク勤務において、ワークライフバランスは向上したか



三菱ケミカル社では、夏季大会に合わせた今回の対応を機にテレワークの活用をさらに加速させ、デジタル通信技術やシステムツールを有効活用した業務プロセスの抜本的な見直しを図ります。

本件に関するお問い合わせ先
 (株) 三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室
 電話：03-6748-7140

《ご参考》

『三菱ケミカルは決めました』30の宣言について

三菱ケミカルホールディングスでは、従業員・職場の「健康支援」と「働き方改革」を両輪に、“健康”という視点から、企業の最も大切な財産のひとつである従業員の活躍を最大化する『KAITEKI健康経営』を推進しています。

この『KAITEKI健康経営』の具体的施策の一環として、多様な人材がいきいきと活力高く働ける職場づくりを通じて、高い生産性と創造性の基盤を築くことを目的に、『三菱ケミカルは決めました』という30の宣言を作成し、その実現に向けて取り組んでいます。

- 宣言1 : KAITEKI健康経営を推進します
- 宣言2 : 従業員の健康維持・管理に、予防から治療、就業との両立まで、更に深く真剣に関わります
- 宣言3 : KAITEKI健康経営を踏まえた組織マネジメントと部下育成を職位者の重点課題に位置づけます
- 宣言4 : ハラスメントゼロ職場を実現します
- 宣言5 : ゼロ災をめざします
- 宣言6 : 職場での受動喫煙防止対策を徹底します
- 宣言7 : 製造現場の社員もしっかり休めるように要員配置を見直します
- 宣言8 : 製造現場のトイレ環境を改善します
- 宣言9 : サービス残業を許しません
- 宣言10: テレワークを推進します
- 宣言11: 「休日メール」「休日の作業を前提とした資料作成指示」を禁止します
- 宣言12: 社員全員が3日間連続の休暇を取得します
- 宣言13: 部下に有給休暇をしっかりと取得させた組織長には、その要素も加味した評価や認知を実施します
- 宣言14: 社員が配偶者の転勤に帯同したい場合や介護で親元に戻りたい場合は、積極的なサポートを実施します
- 宣言15: 子供を持って働く社員を長期的視点で支援します
- 宣言16: 男性の育児休暇または時短取得率100%をめざします
- 宣言17: 育児・介護に限らず、病気治療等家庭や個人の事情がある人には時短勤務を認めます
- 宣言18: 介護離職ゼロをめざします
- 宣言19: 性別、国籍、障がいの有無、性的志向、性自認等に関わらず、さまざまな価値観を持った多様な人材がいきいきと活躍できる職場にします
- 宣言20: 障がい者の職域拡大、職場環境整備を図り、雇用促進を全社的に進めます
- 宣言21: Welcome Talent! 新卒に加えて、中途採用も積極的に実施していきます
- 宣言22: Welcome Back! 他所で経験を積んで戻ってきてくれる人を歓迎します
- 宣言23: 当社に入社してくれる誰もが、入社後スムーズに活躍できるようになるための支援(研修等)を行います
- 宣言24: 年齢や勤続年数ではなく、職務、経験、貢献度等を踏まえた登用を行います
- 宣言25: 育児や介護は貴重な体験であり、昇格・評価等も含めた諸任用の際に休職自体が不利に取り扱われることはありません
- 宣言26: キャリアデザイン面談を確実に行之い、社員一人ひとりが成長することを支援します
- 宣言27: どこでどのように働きたいのか、社員のキャリア志向、希望も聞いた上で配置・育成を行います
- 宣言28: 社員の学びをサポートします
- 宣言29: Welcome 武者修行!
- 宣言30: ボランティア参加する社員を応援します